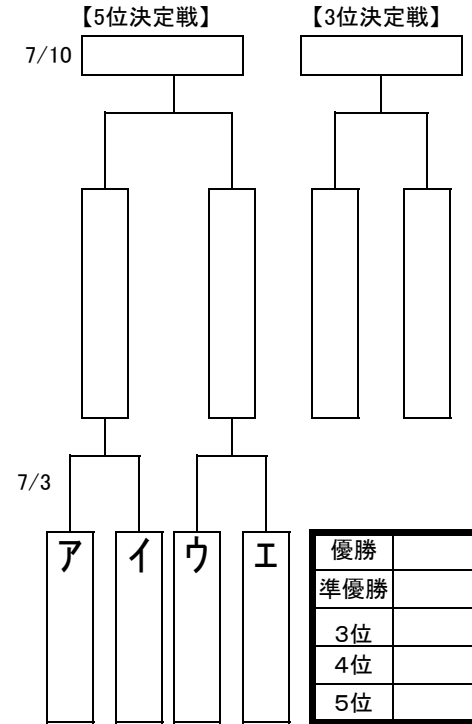
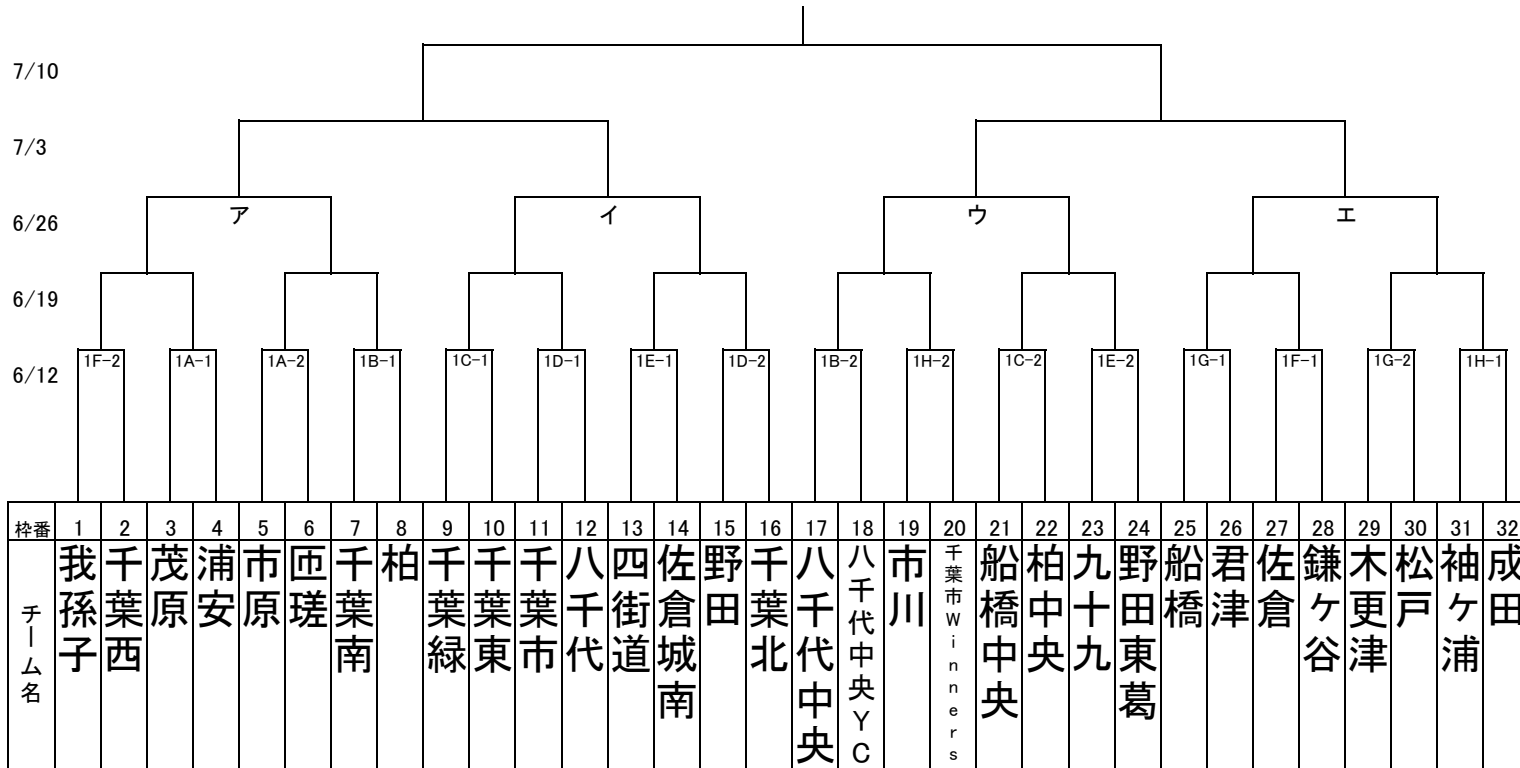




2022年 千葉日報社新人大会 「感謝の気持ちを“力”に換えて」

※雨天及び支部大会の状況等により試合日程及び試合会場が変更になることがあります。



優勝	
準優勝	
3位	
4位	
5位	

日付	記号	審判	グラウンド	日付	記号	審判	グラウンド	日付	記号	審判	グラウンド	日付	記号	審判	グラウンド	日付	記号	審判	グラウンド	日付	記号	審判	グラウンド
6/12	1A	2	ZA	6/12	1F	2	佐倉																
6/12	1B	2	柏	6/12	1G	2	木更津																
6/12	1C	2	千葉緑	6/12	1H	2	成田																
6/12	1D	2	千葉北																				
6/12	1E	2	九十九																				

大会進行方法	千葉3ブロックに所属する32チームにより、トーナメント戦を行う。 今大会は、複数チームの出場を認めるが、連盟規約の「複数チームに関する規定細則」を満たす事とする。尚、子チームが関東連盟に登録しているチームが複数勝ち上がった場合は2チームにシード権を与えるものとし、登録していないチームが複数勝ち上がったとしてもシード権は1チームのみとする。東関東支部秋季大会の5つのシード権をかけた大会で、トーナメント戦の準決勝に進出した4チームはその時点でシード権を獲得し、準々決勝にて敗退した4チームにてトーナメントを行い勝ち上がったチームが5つ目のシード権を獲得するものとする。																																										
出場資格	東千葉ブロック6チーム、西千葉ブロック11、南千葉ブロック11、計28チームに所属する登録選手で、ベンチ入りは1チーム9名～25名以内とする。(休部1チーム:印西。不参加チーム:香取) 従来の選手登録書は原則として不要ですが、合同チームまたは他チームから選手応援を受けるチームは合同大会用の選手登録書が必要で、又、複数参加のチームは関東連盟の書式に基づき親チームの訂正と子チームの登録書を作成提出後ブロック長の確認を受けてください。監督は試合前、本部に所定のメンバー表(監督名は監督がサインをする)、指導者カード、選手カード、投球数確認シート(及び合同チームまたは他チーム選手応援を受けるチームのみ合同大会用の選手登録書)を提出し、大会役員、グラウンド運営責任者又は審判員による確認を受ける。 ※選手カードは毎試合必ず背番号順にセットして下さい。背番号は従来通り1～25番です。 尚、11名以下のチームは3年生をボールボーイ、バットボーイ、ブルペン捕手、ブルペン補助、シートノック時の補助に補助員として2名起用できる。但し、選手への指示・指導(応援含む)は行えない。補助員は出場選手と同じユニホームの着用は行えず、試合前に本部席に口頭で申し出ることとする。																																										
※コロナ対策	別紙関東連盟通達による感染防止対策による。(各チーム健康管理チェックシート、及び消毒液(シート等)忘れずに持参願います。)																																										
日程 試合開始時刻	予定日:6月12日(日)、19日(日)、26日(日)、7月3日(日)、10日(日)・・・5日間 予備日:6月18日(土)、25日(土)、7月2日(土)、9日(土)、16日(土)、17日(日)、18日(祝) 第1試合9:00、第2試合11:00 第3試合13:00を原則とするが、基本一会場2試合とし、第1試合9:00、第2試合11:00とする。 なお、夏季関東大会の試合日程が重複したチームの試合は、予備日を利用することがある。																																										
審判員	チーム帯同審判員とする。ただし、決勝戦、3位決定戦、5位決定戦は派遣審判員により行う。																																										
試合	関東連盟競技規則による(関東連盟HPに掲載)。ただし、コールドゲームに3回終了時13点差を加え、決勝戦にもコールドゲームを適用する。 メンバー表は25人記載用を使用し5部提出(コピー可)する。 各チームアナウンスの他に投球数カウント係1名お手伝い頂きお互いカウントし、インニング終了後アナウンスにて放送し、ベンチにて確認をお願い致します。 組み合わせ表の若番チームが一塁側とし、敗者戦においても、本戦の若番チームが一塁側とする。 試合前及び終了後の整列はベンチイリメンバー全員ホーム前に整列しノーボイスにてお願い致します。																																										
荒天時の対応	天候不良の場合でも第1試合のチームは、グラウンド責任者に連絡することなく開始時間1時間前迄に集合のこと。グラウンド責任者は、天気予報、グラウンド状態を勘案し中島支部競技副部長と協議の上、中止又は待機を決定し2試合目チームに連絡する。 種々の都合により試合時間・グラウンド・審判員の配置等を変更することがある。																																										
表彰	優勝・準優勝・第3位・第4位																																										
大会競技委員 (敬称略)	【連盟理事長】 三木慶造 090-4826-4469 【支部副支部長】 相葉延市 090-2633-3306 【支部競技部副部長】中島洋 090-2665-0938 【支部競技部】 櫻井道徳 090-4667-0983 / 山本久 090-2646-6455/ 小島慶明 090-3008-9808 大羽澤一雄 080-8877-1267 【支部競技員】 作田 090-3100-5887/立松弘通090-4200-6781/粕谷哲也090-4616-9012/遠藤正彦090-1116-9023 磯野嘉一090-1605-5546/津野広昭090-8879-5640 【支部広報部長】 後藤敦 090-5206-1189 【支部広報副部長・競技部】 椿和彦 080-4142-0995 【支部審判長】 谷口昌弘 090-3349-7536 【支部副審判長】 柴田公一 090-4065-7297【審判部総務部長】 飛田泰宏 090-1504-2961 【ブロック審判長】【東】中村新悟 090-1116-4465 / 【西】大川茂昭 090-4623-9573 / 【南】川俣滋彦 090-5191-1909																																										
グラウンド 提供チーム	<table border="1"> <thead> <tr> <th>チーム名</th> <th>責任者</th> <th>携帯番号</th> <th>チーム名</th> <th>責任者</th> <th>携帯番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>佐倉</td> <td>高橋事務局長</td> <td>090-4054-4223</td> <td>香取</td> <td>伊能事務局長</td> <td>090-4058-6717</td> </tr> <tr> <td>柏</td> <td>立松事務局長</td> <td>090-4200-6781</td> <td>君津</td> <td>津野事務局長</td> <td>090-8879-5640</td> </tr> <tr> <td>千葉北</td> <td>山本事務局長</td> <td>090-2646-6455</td> <td>匝瑳</td> <td>鈴木事務局長</td> <td>090-8771-8514</td> </tr> <tr> <td>成田</td> <td>作田事務局長</td> <td>090-3100-5887</td> <td>茂原</td> <td>大羽澤事務局長</td> <td>090-8877-1267</td> </tr> <tr> <td>木更津</td> <td>粕谷事務局長</td> <td>090-4616-9012</td> <td>千葉緑</td> <td>勝事務局長</td> <td>090-6215-3339</td> </tr> <tr> <td>ZAホールパーク</td> <td>椿事務局長</td> <td>080-4142-0995</td> <td>九十九(日向の森)</td> <td>中島事務局長</td> <td>090-2665-0938</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各チームのグラウンドを使用する場合、駐車台数はマイクロを含め10台にてお願い致します。(千葉緑は8台) グラウンド提供チームにやっていただくこと この大会は夏季関東大会等と日程が重なるため、全会場に役員を配置することが出来ません。従ってグラウンド提供チームの事務局長には、グラウンド運営責任者となって頂き、審判責任者と協力して大会運営に当たって頂きます様お願い致します。尚、運営に当たっては、連盟規定集大会規定、同細則に従い、不明点等は中島支部競技副部長と協議の上、進行願います。 ・グラウンド運営責任者は、第1試合開始時刻の1時間30分前に集合し、審判のミーティングに参加し、当日の運営についての打ち合わせを行う。 ・7時30分から第1試合チームがアップできるように準備する。 ・グラウンド使用料(2,500円/1チーム1試合 公営球場は3,000円)、審判・役員弁当の徴収、領収書の発行 ※審判・役員弁当の徴収金額=(審判員数+役員数)×700円/試合を行うチーム数 (四捨五入し10円単位) ・メンバー表と選手カード、指導者カード、健康チェックシートを確認する(複数出しのチームは選手登録書も確認する) ・審判及び役員の弁当手配(1個600円程度) ・グラウンド運営責任者は、試合経過を関東連盟のHPに速やかにアップすることで、役員への電話連絡を不要とする。 ・結果並びに次戦の予定は、相葉理事から役員、各チームに配信し、後藤、椿役員によりブロックHPにUPする。 ・グラウンド責任者は、準々決勝以降千葉日報社への結果報告書を、その日のうちに東関東支部事務局 鈴木 へて FAX 送信(FAX0479-62-1092)する。 ・グラウンド地図を用意し、必要なチームにFAXなどで送付する。(電話は原則夜10時までとする) ・結果並びに次戦の予定は、相葉副支部長から役員、各チームに配信し、後藤、椿役員によりブロックHPにUPする。</p>	チーム名	責任者	携帯番号	チーム名	責任者	携帯番号	佐倉	高橋事務局長	090-4054-4223	香取	伊能事務局長	090-4058-6717	柏	立松事務局長	090-4200-6781	君津	津野事務局長	090-8879-5640	千葉北	山本事務局長	090-2646-6455	匝瑳	鈴木事務局長	090-8771-8514	成田	作田事務局長	090-3100-5887	茂原	大羽澤事務局長	090-8877-1267	木更津	粕谷事務局長	090-4616-9012	千葉緑	勝事務局長	090-6215-3339	ZAホールパーク	椿事務局長	080-4142-0995	九十九(日向の森)	中島事務局長	090-2665-0938
チーム名	責任者	携帯番号	チーム名	責任者	携帯番号																																						
佐倉	高橋事務局長	090-4054-4223	香取	伊能事務局長	090-4058-6717																																						
柏	立松事務局長	090-4200-6781	君津	津野事務局長	090-8879-5640																																						
千葉北	山本事務局長	090-2646-6455	匝瑳	鈴木事務局長	090-8771-8514																																						
成田	作田事務局長	090-3100-5887	茂原	大羽澤事務局長	090-8877-1267																																						
木更津	粕谷事務局長	090-4616-9012	千葉緑	勝事務局長	090-6215-3339																																						
ZAホールパーク	椿事務局長	080-4142-0995	九十九(日向の森)	中島事務局長	090-2665-0938																																						
試合球 ロジックバック	各チームは確認用ロジックバック1個及び試合球(公認メーカーの確認のできる練習球可)3個を試合開始前攻守決定時に抛出し、試合球の試合中不足分はその都度抛出する。試合終了後、試合球は各チームへ返却する。																																										

<様式 A>

投球数確認シート

【本部提出用】（試合終了後チームで保管）

大会名 : 2022年千葉日報社杯新人大会

チーム名 :

日本リトルシニア中学硬式野球協会

		投 球 数													
球 場 名															
背番号	投 手 名	月 日		月 日		月 日		月 日		月 日		月 日		月 日	
		第 回戦	3連投	第 回戦	3連投	第 回戦	3連投	第 回戦	3連投	準々決勝	3連投	準決勝	3連投	決勝戦	3連投
1		球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)
2		球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)
3		球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)
4		球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)
5		球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)
6		球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)
7		球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)
8		球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)
9		球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)	球	(可・否)
球場責任理事(役員) 確認サイン															
球場責任審判員 確認サイン															
監督 確認サイン															

【投球数制限】

注)打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

- ① 1日最大90球以内とする。
- ② 連続する2日間で130球以内とする。
- ③ 3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、3日間の投球数合計を130球以内とする。
なお、4連投(連続する4日間)は禁止する。
- ④ 上記①②③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤ 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
- ⑥ 打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。

- ⑦ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑧ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いいたします。

【本シートの運用方法】

- ① 試合終了後、本シート(原本)に投球数を球場責任審判員が記入・サイン後、球場責任理事(役員)及び、監督へ確認を求め、サインを受ける。
- ② 監督は、サインされた本シート(原本)を次の試合まで保管する。
- ③ 監督は、次の試合開始前に本シート(原本)とコピー2部を大会本部へ提出する。
注)連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。
- ④ 鉛筆での記入と複写したシートは、原本としては無効とする。

<様式 B> (1試合用)

投球数確認シート

【責任審判員保管(試合終了後)】

日本リトルシニア中学硬式野球協会

大会名 : 2022 千葉日報社杯新人大会

チーム名 : _____

試合日 : _____年 _____月 _____日 (第 _____試合)

球場名 : _____

< 記入例 >		※上段：投球数を正の字で記入 ※下段左：その回の投球数 ※下段右：累計の投球数											
背番号	投手名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB-1	TB-2	TB-3	合計
1	日本 一郎	90 (92) 球	正正正 15 / 15	正正正 17 / 32	正正正正 20 / 52	正正正正 20 / 72	正正正正 20/90(92)	/	/	/	/	/	90(92)球

注)五回、打席の途中で制限数の90球に達し、当該打者の打席終了まで投じた結果、累計の投球数が92球となった例。

【 記入欄 】													
背番号	投手名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB-1	TB-2	TB-3	合計
1		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
2		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
3		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
4		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
5		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球

【投球数制限】

注)打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

- ①1日最大90球以内とする。
- ②連続する2日間で130球以内とする。
- ③3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、3日間の投球数合計を130球以内とする。
なお、4連投(連続する4日間)は禁止する。
- ④上記①②③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。

- ⑥打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。
また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
- ⑦申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球はカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑧異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

- ①様式 B´ やスコアシート等との確認により、正確な投球数の記入に努める。
- ②試合終了後、責任審判員が保管する。